

大学図書館員のための IT 総合研修

2024 年度のテーマ： Web コンテンツ公開方法の理解と実践

1. 目的

本研修は、大学図書館等がサービスを提供する上で必要な、IT 技術の理解を深めることを目的とする。

大学等研究機関の図書館は利用案内等を掲載する Web ページや、自館の所蔵資料を検索できる OPAC 等を公開している。近年では Web ページの作成は CMS (Contents Management System) によるものが多く、HTML・CSS・JavaScript に関する基本的な知識を修得する機会は少ない。

本研修では、大学等研究機関の図書館で必要とされる Web でのコンテンツ公開にかかる基本的な事項 (Web サイトの仕組み、HTML・CSS の記述、簡単な JavaScript の記述) について、解説や演習を通して、理解する。なお、Web サイトの公開にあたっては、GitHub を使用する。

こうした実践を踏まえた理解を通して、Web ページや OPAC 等のあり方をシステムベンダーやシステム管理者と協議・構想するための知識や技術を修得する機会を提供する。

2. 到達目標

学術情報システムを総合的に担う基幹的人材として、将来にわたって学術情報流通基盤整備をめぐる諸課題の解決に向けた実践的な取り組みができるようになることを到達目標とする。

本研修修了者には、次年度以降も国立情報学研究所が主催する各種のイベント・講習会、各種ワーキンググループ、パブリックコメント等に積極的に参加することを求めることがある。

3. 受講対象者

(1) 基本的要件

国内外の最新の動向を学び、学術情報流通基盤整備の推進および改善について、主体的に考える意欲があること。

(2) 所属機関

教育・研究機関等 (大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、大学校、独立行政法人、文部科学省の施設等機関、国立国会図書館等)。

(3) 勤務形態

現在、大学等から直接雇用されて勤務し、また受講後も一定期間、所属機関での勤務を予定している職員。現在の担当業務は問わない。

(4) 研修等受講歴

特になし

4. 受講の前提となる知識・技術・環境

- チャットツール（slack）で事前・当日・事後の連絡を行えること（slack アカウントは国立情報学研究所で用意する）。
- Web に接続した PC・ヘッドセットを用意し、Web 会議システム（Webex）を使って受講可能なこと。
- PC はソフトウェアのインストールが受講者自身で行える（管理者権限が付与されている）こと。
- 複数台の PC またはデュアルディスプレイの使用を推奨する。
- 通信容量制限や速度制限があるネットワーク環境の場合は、利用状況によって遅延等が発生する場合がありますので、注意すること（またネットワークへの接続は有線が望ましい）。

5. 開催会場・開催期間等

開催会場	開催日時		申込締切日	定員
Web 開催	2024.8.28（水）～8.30（金）	9:30～17:30	2024.7.5（金）	20 名

6. 主な研修内容（予定）

- Web サイトの基本的な仕組みの解説
- Git(GitHub)の解説
- テキストエディタを使った HTML、CSS、JavaScript の解説と演習
- Web サイト等の改善案の検討とモックアップ（HTML 等で記述）の作成

参考：2021 年度カリキュラム及び講義資料（2024 年度と同テーマ）

<https://contents.nii.ac.jp/hrd/it/2021/result>

7. 事前課題

特になし

8. 受講の申込みと受講者の決定

受講希望者の所属機関が、研修申込システムから申込みを行う。申込後に出力される「推薦書」により、各所属機関の長または所属部局の長から国立情報学研究所長に対して、受講希望者の推薦を行う。

国立情報学研究所長は、推薦された者の中から受講者を選考し、各所属機関の長または所属部局の長に対して結果を通知する。

※申込み手順の詳細は、『研修申込システム利用手順』を参照。

9. 経費

研修費および教材費	無料
-----------	----

10. 修了証書

この研修において所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。